

# 別寒辺牛

べかんべうし

2010年8月発行  
NO.22

ラムサール条約登録湿地 厚岸湖・別寒辺牛湿原 厚岸水鳥観察館だより

## いろいろな生き物が子育て中！

初夏になりました！ このまま晩夏になるのではないかと心配するくらい不安定な天候が続きますが、そんな中でも野生動物は子育てに必死！ 水鳥観察館前の湿原ではいろいろな生き物が子育ての真っ最中。毎年おなじみのタンチョウはもちろん、オジロワシ、エゾシカなどが順調に子供を育てています。親子連れの様子が、水鳥観察館のハイビジョンモニターで見られますよ！



今年の夏の1番の特徴は、この鹿の子模様になったエゾシカ親子でしょう。観察館が出来て15年になりますが、真夏に一日中、しかも合わせて10組以上のエゾシカ親子が青々とした湿原にいる光景は見たことがありません。

しかも、そのエゾシカ親子は塩水が少し混ざる湿原に生える“フトイ”や湿原にどこでも生えている“ヨシ”を、おいしそうにムシャムシャ食べているのです。

エゾシカの世界に何が起きているのでしょうか???

## 今年こそ年を越して！

ここ数年、キタキツネに食べられたり、行方不明になってその姿を久しく見ることが出来なかったタンチョウのヒナが、今年は順調に育っています！

詳細は2ページに書いてありますが、5月のヒナの誕生後、家族で姿を見せてくれる日も多く、私たち職員もホッとしているところです。今年こそ！幼鳥が厚岸を巣立ってくれますように！



# タンチョウが順調に子育て中！

冬の間、阿寒や鶴居の給餌場で越冬していたタンチョウが、3月初旬に子育てのために別寒辺牛湿原に徐々に帰ってきました。別寒辺牛湿原では約40つがいが毎年子育てをしていますが、今年も水鳥観察館の前に1つがいが巣を作り、4月14日に卵を抱き始めました。

雨が多かったため、湿原が増水していて、親鳥は卵が水に浸からないように巣材を積み上げるのに必死。例年になく高くなった巣で、2個の卵をあたため続けました。ところが、そろそろヒナがかえるかな？と思いながら観察していた5月16日、なんと、卵を抱いていたメスが卵の1個をくちばしで刺して振り回すのをモニタから目撃！びっくりしていたら、その卵を巣から放り投げてしまいました。どうやら卵が死んでいたようです。交代で卵を抱きに戻ってきたオスは、捨てられた卵を見て不思議そうな様子。しばらく蹴り出された卵を確認していましたが、メスと鳴き交わしをして、残った1個をまたあたため始めました。このような「死んでいる卵を捨てる行動」は、タンチョウでは観察例がなく、非常に貴重なシーンだったそうです。（録画できなかつたのが残念！）

死んだ卵が捨てられた2日後の5月18日に、残った1個から無事にヒナが孵りました。この数年残念ながら、ヒナをキタキツネに食べられてしまい、子育てに失敗していますが、今年は今のところキタキツネに狙われることもなく、順調に子育てをしています。今年は巣立ちまで育つか？

現在、毎日かならずという訳ではありませんが、ヒナをつれて歩いている様子を観察館のカメラモニターで見ることができます。今年の2月に新しくなったカメラとモニターで、今までよりも鮮明で詳しい画像が見られるようになりました。ぜひ観察館に足を運んでみて下さい！



5月19日、孵化した翌日のヒナにエサをあげる親鳥。



6月15日、親の方くらいまで成長したヒナ

このたよりが読まれるころには、白い翼が大分大きくなっていると思います。このまま8月初旬には飛び訓練が始まる予定！

# やちっこクラブ活動スタート！

昨年度からスタートした、町内の小中学生を対象とした自然体験学習プログラム「厚岸湖・別寒辺牛湿原やちっこクラブ」の平成22年度の活動が始まりました。去年から引き続き参加している子供たちに加え、新たな参加者が増えて、今年のキッズレンジャーは総勢17名！5月9日に開会式を行い、5月30日に子野日公園での野鳥観察会、6月6日には北海道大学厚岸臨海実験所の実習船みさご丸に乗船して、大黒島周辺の海鳥やアザラシの観察に行きました。7月17日にはカヌーで夏の湿原を探索。今年も楽しいプログラムが目白押しです！



# 平成22年度の厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究 奨励補助金の助成テーマが決まりました。

今年度の厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助金には13件の応募があり、選考の結果、以下の7件が助成対象となりました。

- ・「外来種キタアメリカフジツボの厚岸沿岸における侵入過程 と在来群集への影響の解明」  
深谷肇一（北海道大学）
- ・「ゼニガタアザラシ *Phoca vitulina* の厚岸湾における漁場進入行動の解明」  
今井貴裕（北海道大学）
- ・「厚岸湾内で操業する零細漁業者が抱える問題点の把握と解決方法の検討」  
小林由美（北海道大学）
- ・「衛星画像を利用した別寒辺牛湿原の植生の長期変遷と季節変化の解析」  
近藤昭彦（千葉大学）
- ・「厚岸地域平野部を利用するヒグマの生態」  
中村秀次（日本大学）
- ・「過去7000年間における別寒辺牛湿原の環境変動と形成過程の復元」  
石川智（九州大学）
- ・「別寒辺牛川水系および厚岸湖に生息するイトウ (*Hucho perryi*) 成魚の行動生態の解明」  
鍵和田玄（北海道大学）

過去の助成金報告書は、水鳥観察館や情報館で閲覧することができます。  
ご興味のある方は足を運んでみて下さい。

問い合わせなどは、以下の連絡先に！



あっけし みずどり かんさつかん

厚岸水鳥観察館

☎088-1140

北海道厚岸郡厚岸町サンヌシ 6 6 番地  
TEL (0153)52-5988 FAX (0153)53-2121  
URL:<http://www.marimo.or.jp/AWOC/>